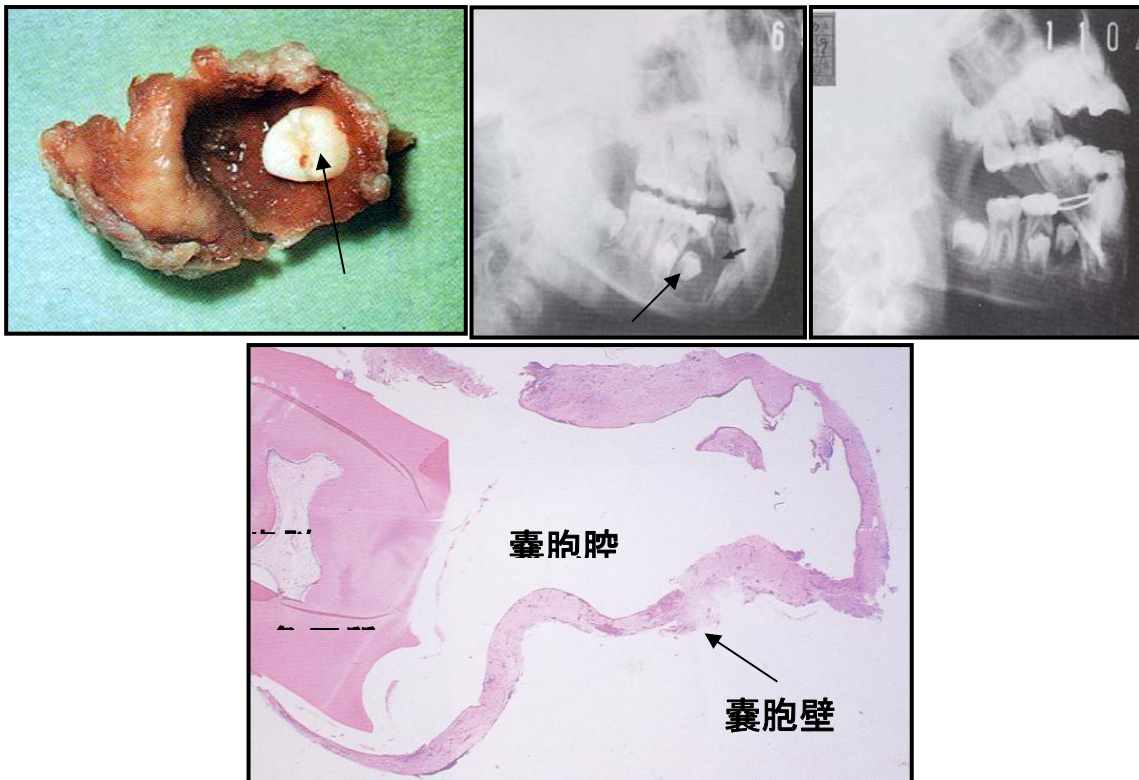


嚢胞の話③

袋状の病変「嚢胞」。

顎の骨の中に出来る嚢胞のうち、含歯性嚢胞という病変があります。

これは嚢胞腔内に(袋の中に)埋伏歯の歯冠を含むものをいいます。



図の矢印が全て埋伏歯です。

摘出物の写真は分厚い嚢胞壁とその内部に歯冠(歯の頭の部分)が含まれていることがよくわかると思います。

X線写真は乳歯を抜歯し嚢胞を開窓する前後の状態、左が術前、右が術後です。このように埋伏歯を萌出誘導するために、嚢胞を摘出せず「穴を開ける」だけで経過観察する場合があります。

下段の写真は摘出物の病理組織像です。

智歯部にも発生する場合がありますが、この場合は多くは摘出術が行われます。

歯科医院でX線写真撮影を行った際に、もしかすると発見されるかもしれませんね。